

# 定例教育委員会会議録

平成26年4月23日

境港市教育委員会（平成26年4月23日委員会会議録）

招集年月日 平成26年4月23日 15時30分

招集場所 市役所第三会議室

開 会 15時30分 委員長宣言

出席委員 ① 佐々木 邦広 ② 谷田 真基  
③ 足立 ひと美 ⑤ 永井 美央  
⑥ 遠藤 恵裕

委員長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 門 脇 俊 史  
学校教育課長 山 本 淳 一  
学校教育課補佐 遠 藤 彰  
生涯学習課長 沼 倉 加奈子  
教育総務課係長 古 徳 健 雄  
図書館館長 藤 原 順 宣

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課係長 古 徳 健 雄

提出議案 議案第16号 境港市公民館運営審議会委員の委嘱について

協議事項 平成26年度予算の概要について

報告事項 4月の行事報告、5月の行事予定など

遠藤委員長

定刻になりましたので4月の定例教育委員会を始めます。まず議案第16号、公民館運営審議会委員の委嘱について、事務局より説明をお願いします。

生涯学習課長

議案第16号、公民館運営審議会委員の委嘱についてでございます。大方の委員については、3月25日の教育委員会でご承認いただき、4月1日付で委嘱をしておりますが、定数に達しておりませんでした誠道公民館において、新任の4名の委嘱についてご承認いただきたいものでございます。任期は平成26年5月1日より平成28年3月31日までといたします。なお前回の教育委員の際に、上道公民館運営審議会委員に第一中学校の木村校長先生を委嘱いたしました件についてご質問をいただいておりますが、上道公民館といたしましては、中学校の情報を得るために加わっていただいているということで、イベント参加までは求めていない。一方、境公民館のほうにつきましても、特に上道公民館だけに加わっていただいているということについて問題はありませぬ。木村校長先生におかれましても境地区、上道地区ともに都合の許す限り事業には参加しますから大丈夫ですという回答をいただいております。

遠藤委員長

新しい4名を加えた公民館運営審議会委員、承認ということでよろしいでしょうか。(異議なし)。ではよろしくをお願いします。

この間の3月の教育委員会に渡公民館長の任期が5月末になっておりますが、現在調整していますので、来月(4月)の教育委員会で議案として出させてもらいますということでしたが、次回ということになるのでしょうか。

生涯学習課長

公民館運営審議会委員長のご推薦をいただくということで、渡の公運審の会が少し遅うございましたので、今推薦状をいただいているところでございます。松本一夫館長が継続していただくということで、自治会長と公運審委員長のご推薦はいただくことになっておりますので、次回の委

員会に諮らせていただければと存じます。

遠藤委員長

議案はこれで終わりたいと思います。

協議事項ということで、平成26年度予算の概要についてということで、資料をいただいております。例年どおりの事業とは別に、新規事業もございます。

足立委員

「小中学校学力向上事業」と「小中学校よりよい学級づくり事業」は、昨年度新規であがっておりますが、効果・成果が期待できるので継続ということだと思いますが、補足をお願いできますでしょうか。

学校教育課長

まずは「小中学校学力向上事業」につきましては、CRTという全国標準の学力検査を小学5年生の国語・算数、中学2年生の国語・数学・英語で実施しております。これらは学年が変わっているものを追跡するわけではございませんが、その学年になれば自分たちの今までの学力を、どこが弱いところでどこが強いところなのかを総合的に見ていく。つまりその前の学年、小学3、4年生の課題が何なのか。中学校でいけば1年生のときに取りこぼしていることはなかったのかを改めて検証することに繋がっているようでして、直接的に学力が向上したというわけにはなりません。教師の指導力の改善と子供たちの弱点の克服には特に効果があるのではないかと考えております。

「小中学校よりよい学級づくり事業」につきましては、hyperQU（ハイパーキュー）という心理テストを使わせていただいております。これをすべての子供たちにかかせさせていただいて、学級の中でのその子のポジションや困り感、悩みに即座に寄り添える方法をとっています。従来こういう検査はやりっ放しというような大きな課題と反省点がございまして、年2回取りますことで、学級の雰囲気はどのように変わったか。その個人がどのような方向へシフトしていったのか。不満足な状況だったのが満足の方向に動いているのか。人との係わりを大事にするようになって、学級が楽しいとか。担任の先生がどういう学級

経営をすると、学級が管理型なのか、慣れあい型なのかというところが分かるような状態でやらせていただいております、特にこのhyperQUにつきましては、その個人のソーシャルスキルと言われるような、社会性を見ることができます。それらを活用し検討会を学校で持つようにしておりますし、この事業の担当者を市教委のほうで集めまして分析をしているところであります。

足立委員 分析が時間的、能力的にも難しいと思っていたところ、市教委のほうで指導されていると聞いて安心をしました。

永井委員 その後、児童や生徒の家庭環境とかの背景がなんとなく感じられる部分というのは、学校から働きかけるということもしておられるのでしょうか

学校教育課長 なかなか家庭環境には入り込めないところもありますが、さまざまな状況が考えられますので、事が起こってから対応するような今までの生徒指導体制が、未然の防止と予防というようなところにも力を入れていけるようにもなりましたので、親御さんへの事前の呼びかけ、防止のための環境づくりというところは、各学校からさせていただいているところです。

足立委員 「成人式記念事業」であります、昨年から予算、対象人数も増えているようですが、需用費というのは記念品のことでしょうか。地産地消というか、境港市と関わりのあるものにするというスタンスがあるのでしょうか。

生涯学習課長 昨年のバックは使いやすいという意見も出ているようで、また検討してみたいと思っております。

足立委員 昔は計算機とかありましたが、今はよく考えておられるなど思っておりますが、心に残る成人式というのは非常に難しいが、毎年工夫されて、今年のビデオレターに協力してくださった先生方には感謝ですが、個人の志向としては

同窓会にはいいけれど、成人式にはどうなのだろうと思います。少ない経費ではありますが、更なる工夫をよろしくお願いします。

永井委員

記念のビデオレターも大変いいと思いますし、子供も懐かしいとは思いますが、市の税金を使ってすることで、市内に在住する20歳の人を対象ということになりますので、養護学校や他市の学校に通学する子供たちもいるので、配慮もお願いしたい。

谷田委員

「市民会館耐震改修等事業」について、前回青年会議所でお手伝いするようなことがあればさせていただきたいというお話をさせていただいたのですが、具体的な実施時期や対応等は決まっているのでしょうか。

生涯学習課長

まだこれからというところです。

足立委員

旅費は講演会講師のものでしょうか。

生涯学習課長

視察の経費でございます。

遠藤委員長

なかなかまとめるのは大変だね。検討会もやられているでしょうけど。

教委事務局長

しっかりと市民の皆様に議論していただきたいと思います。

遠藤委員長

市民から意見を聞く、言葉としてはよく分かるのだが、具体的にどういう聞き方をするのか。それによって大分方向性も変わってくるだろうし、その辺を見極めながら言葉だけが一人歩きしないようにしていただきたい。ただ意見を聞くのではなく、市はこう考えているということも、ある段階では出す必要がある。市がリードしていくことも、機運を高めていくのには必要かもしれない。教育委員会だけの話ではなく、市全体として考えていくことだと思いま

した。

海くらは20周年になるのですね。これを機会に活性化したいですね。

佐々木教育長

古徳氏の写真展を予定しているところです。

生涯学習課長

魚食に関する講演会、魚というテーマを逸脱することなくということで、魚食というプランを練っています。あと関連するイベントもできればと考えております。

遠藤委員長

少しでも市民が参加できるものをお願いしたい。予算にはないようだが、海くらの看板はずしたのでしょうか。

佐々木教育長

確認しておきます。

遠藤委員長

図書館のほうも新規とあるが、図書購入費の予算を増額したということであるのですね。

生涯学習課長

通常の事業費とは別に、今年は100万円増額。県内4市の中で、特に蔵書数が少なかったということ。調べてみますと湯梨浜町並みだったということで、大型絵本ですとか大活字本等の蔵書の充実を図るために、プラスアルファをしたところでは。

遠藤委員長

それで新規とあるわけですね。

足立委員

図書購入費の増額は大変喜ばしいことですが、スペースの有効活用についてです。小さい子が奥のスペースから書架まで行くのに、いちいち履物を履き替えないといけない。ちょっと離れたところにあって不便というか、活用しにくかったという意見を聞いています。スペースは限られており難しいとは思いますが、図書館の配置や有効スペースの活用について検討されるときに、参考意見のひとつに入れていただければと思います。伝え聞いた話によりますと、

他県の方ですが、小さい子がスペースで本を読んでいると、ボランティアだと思ってしまうのですが、読み聞かせをしてくれたりと、非常に細かい配慮がされている図書館だそうでした。境港市も大きい図書館なので期待して行かれたようですが、そういう配慮がほしいという意見も聞いております。普段は図書の整理等でボランティアの活用はされているのでしょうか

図書館長

読み聞かせ団体というボランティアはあります。それ以外では図書整理のボランティアには2人来ていただいておりましたが、昨年の秋に諸事業から休ませてくれと言われてまして、そのとおりにいたしましたところですが、分館2階で作業をしてもらっていたのですが、冷暖房機器が壊れました。しかしながら予算がないということで、冷暖房はなしのところでした。春になり復帰されるかと思いましたが、引き続き休まれ引退された。

奥の児童コーナーにつきましては、元々が狭い。例えば米子に行ってみても児童コーナーは奥にあります。本館の開架スペースは非常に狭いので、児童コーナーの移動は難しい。初めての意見ですので、司書に今のご意見を伝えていきます。

遠藤委員長

「竜ヶ山球場大規模改修」とは。

佐々木教育長

竜ヶ山の改修につきましては、大きな予算が必要となります。バックスクリーンが老朽化により危険な状態です。予算をつけたわけですが、t o t o (トト) というサッカーくじのほうから補助金が出るのが昨日決定いたしました。細かいことが決まりましたら116,968千円のうち、6,200万円ほどの補助を受けつつ、できるだけ早く改修工事を。バックスクリーンを全部取り外しまして、板状のバックスクリーンを設置します。その横に磁気反転式のスコアボードを設置。それから球場の壁面はすべてコンクリートになっていまして大変危険ですのでラバーを取り付ける。芝生の傷んでいるところを補修する。等



の工事をして野球がよい環境でできるよう、以前から懸案でしたがようやく取り掛かれるところでございます。

遠藤委員長 スクールソーシャルワーカーを公募すると聞いていたが、  
どういう方が。

学校教育課長 警察にお勤めでした足立玲子さんという方です。以前は  
ママポリさんをされていて、青少年の補導員を長くされて  
おられました。親御さんからの相談、子供の直接のフォロー  
にあたっておられた方です。西部少年サポートセンター  
におられました。

遠藤委員長 勤務場所は。

学校教育課長 やすらぎ（青少年育成センター）になります。

遠藤委員長 ということでよろしいでしょうか。ご苦労さまでした、  
それぞれ頑張っていたいております。よろしくお願いい  
たします。

それでは報告事項をお願いします。

学校教育課長、生涯学習課長、図書館長 各報告

佐々木委員 終わりの時間を遅くされましたでしょうか。

図書館長 6時のままです。市議会のほうでも、できないかという  
意見があったときもございました。職員の勤務体制もござ  
いますし、始めの15分ぐらいは早くできるかもしれませんが、  
職員の勤務は9時15分から6時までです。開館時  
間は10時から6時までとしているところです。勤務体制  
を2交代制にすればできないこともないかもしれませんが、  
実際の利用者は多くないかもしれないという話などが  
あり、具体的な話に進まなかったということでもあります。

佐々木委員 物理的に無理ということでしょうか。

図書館長 無理というわけではないと思います。

永井委員 以前教育委員会の中でもお伝えしましたが、開館時間の10時をもう少し前倒ししていただくことはできませんか。10時から12時までの間実習室を利用している人にとっては午前中がすぐ終わってしまうということでしたので。

図書館長 午前中で区切っているというわけではありませんが、そういう話も出てきました。勤務時間の問題もあって15分くらいはという話はしたのですが、15分程度ではということでした。年間の利用者等、現状の数字を出しましたが、具体的な話までは進まなかった。

佐々木委員 試験的にでも、夏場を目指して時間延長をやってみるといようなことは必要なのではないかと思うのですが。そうすると時間外にどのくらいの方の利用があったのかということも分かりますし。

遠藤委員長 日が長くなってくると、必要かもしれませんね。以前そういうことがあったということで、また話をしていただければと思います。

昨日行われた学力テストのことについて、今盛んにマスコミのほうでも取り上げられておりますが、確認の意味で公開についてどう考えているのかお聞かせください。

学校教育課長 昨年度より学力テストにつきましては、文部科学省のほうから市町村単位で各学校名を公表することは問題ないという回答がありまして、あとの判断は市町村にお任せします。

遠藤委員長 以前は公開しませんということだったが、公開という方向で文部科学省も流れが変わってきたということですね。

学校教育課長 境港市はどうするのかということで、マスコミ等からも

問い合わせの電話や、読売新聞では全市町村の教育委員会に対しどのように回答するのかということを集計されております。その結果によると全国2%の市町村が学力テストを公開する。74%は慎重に対応する、公表はしないと言う方向での回答だったということでした。境港市としても、昨年度より境港市の学力テストの結果を県・全国と比較する形でホームページ上にも公開しております。各学校は全国、境港市の平均点と自分との学校を比べたものを持っております。やろうと思えばすべての学校の資料を集めて拾えば、すべての学校を比較することはできることになっています。そこまでして他校と比較するメリットはないだろうと、市としても判断はしております。マスコミ等への回答も、市が積極的に各学校間の競争をあおるような形での、個別な公表をしないと回答しております。それに伴って、何か問題はありますかというようなこと、或いはどうして公表しないのかというような問い合わせがあるかというようなことを、マスコミからの問い合わせもございましたが、現在のところ昨年度から公開したことに対する評価を強くいただいております。全部で取り組んでいった境港市の取り組み、県の平均点よりも低いということもはっきりうたっておりますので、そのところでは数値を拾えば判るような形ではいっております。各学校間の差異につきましては、校長先生にはデータとして出しております。それらでどういうところがこの学校の課題であったのか、その学年の課題であったのか、ということをしっかり分析していただきたいというところです。それから担当者には、それぞれ持ち帰っていただいた課題について分析をかけていただいて、それぞれのこれからの取り組みについて、目標も立てていただいております。

佐々木委員

これについては教育委員会で今のところの状況を把握いただいて、どうしたらいいかということをお話し合えばと。公開すべきとなれば公開に持って行きますし、現在のままでということでもよろしければ現在のままでいかせていただければと言うのが事務局の考え方です。整理させ

ていただきますと、各学校ごとにデータを、受検した子供の保護者、6年生と中学校3年生の保護者、それからPTAの執行部、年度末に学校評価を行いますので、学校評価員の方々にはすべてに公開しております。

遠藤委員長

それは各学校内でやっていることなのか。

佐々木委員

全国と市と自分の学校は比較できる。全国を基準にしまして正答率が平均より5%上をB、それ以上であればA、平均より5%下をC、それ以上下であればD、という判定も各学校がつけております。BからCの間であればほぼ問題ないであろうと考えております。Dということになりますと、しっかりとした取り組みをしないといけない。各学校を比較した一覧表を持っているのは、校長、教育委員、市長、副市長に報告しております。それ以外には出さないという方向です。一番大事なのは、自分の学校の課題がどこにあるのかということをしかりと分析をして、そのためにはどのような方策が不足であったか、どんな方策をとっていかうとしているかということをしかりと説明をすることが大事だと思っております。AとBばかりの学校もありますし、ほとんどがDという学校もありますが、その学校もきちんと保護者に対して公開をいたしております。学校を並べることにはあまり意味はないと考えております。例えば誠道小学校は学年によっては1学年9人というところもございます。ここの平均と学級が2クラスある学校の平均を比べることに、そう大きな意味はないと思っております。

遠藤委員長

結果が出てくるのは10月の話ですよ。今テストをやったというだけで、こういう方針でこれからやっていきましょうというだけですね。

佐々木委員

どの学校も真摯に取り組んでいただいております。

永井委員

分析も含めて、年度内に戻ることが大前提で、以

前のように最後に戻ってきて6年生と中学3年生で試験をやっても結果がどう繋がるのかという問題点もあったと思うので、早く結果を返していただきたい。

佐々木委員

その流れのなかで、校長先生からはCRTを早い時期からやってそれを戻していきたいという意見も出てきている。

遠藤委員長

それでは、本日の定例委員会は閉会といたします。ごくろうさまでした。